

一當主並部屋住とも、初て御目見、御次一同名披露、献上扇子一箱、

一在府中、月次五節、御吉凶、總出仕罷在候、

一御口々様御法事之節、願之上、拜禮罷出候、

〔本因坊家略紀下〕本因坊筭砂 出生京師

御入國後、毎年三月中旬に上方より下り、四月朔日五本入扇子差上、參上之御目見申上る、十一月御城碁被仰付、十二月御暇被下置、其節は白銀拾枚拜領す、古來は十二月御暇被仰出候得者上方へ被罷歸、又來三月中旬江戸表へ參著致し、直に御月番の寺社御奉行様へ御届申上、四月朔日碁將碁之者五本入扇子箱差上、一統御目見申上る、其節御奏者番様方御披露あり、本因坊碁將碁之者共參上之御禮申上候と御披露在之候由、夫より退出、直に御老中様方、若御年寄様方、寺社御奉行様行様へ罷越、今日參上之御目見被仰付、難有仕合に奉存候段御禮廻す、十一月於御城碁將碁一統被仰付候日限は、御代々にて相替儀在之候、十二月之御暇も日限、御代々にて相替儀在之候得共、四月朔日參上之御目見計は、權現様 ○徳川家康 御代より急度四月朔日に參上之御目見被仰付候、十一月之碁將碁之日限、有徳院様 ○徳川吉宗 御代より十一月十七日に成り、御城碁被仰付候日は、明六時より御門へ相詰、御太鼓打御門明き候と、直に致登城、御黒書院御縁頼へ罷出、此節御月番之寺社御奉行様方、早朝に被成、御登城相詰候様にと御差圖有之、則御黒書院御縁頼にて碁將碁始る、御火鉢出る被遊上覽候時も、上覽無之時も、御規式は上覽之通、御えとね御刀掛出る、上覽無之節は、御老中様方御座敷廻りの節、不殘御列座被成候と、直に固め仕廻、勝負被成、御覽候、尤固めきわまで打詰め候へて、御老中様方御列座を相待罷有候事也、朝夕二汁五菜之御料理、木具にて被下置、御吸物御酒御菓子御茶被下置候、皆權現様御代之格式也、碁相濟、夫より致退出、御老中様方、若御年寄様方、寺社御奉行様方へ、今日所作被仰付、難有仕合に奉存候由申上、御禮に廻る、扱十二月